



つなげるとどけるちいさな声を

【討議資料】 発行者：高橋たかこ 発行日：2021年10月16日 〒410-2141 静岡県伊豆の国市葦山山木1223

私費で作成配布しています。なぜ政務活動費が使えないか?という、「政治的主義主張が強いから」です。他の自治体では個人の議会レポートも《政務活動》として認められている例もあります。



初めての議会から4年半。高橋たかこは毎回質問に立ち、1秒も余すことなく質問時間を使い果たしてきました。年4回の議会定例会での一般質問は市民の代表者として、市民の声を市長行政当局に直接訴える場であり、議員の最も重要な役割のひとつ。(質問しない議員もいます。)

《質問》といっても、わからないことへの答えを求める質問ではなく《問い質す(といただきます)》のが目的です。議場での質問にむけて

- ①とにかく市民の困りごとや提案を聞きまくる。
- ②当局の事業の現状を調べ、改善点や提案を考える。
- ③近隣市町や全国での事例を調べまくる。
- ④《問い質す》内容の組み立て、資料づくり。などなど。

一般質問への取り組み姿勢は議員それぞれ。高橋たかこはひとつの質問に数十冊分の参考資料を読み込みます。議会での他の議案審査、予算決算審査も併せて、討論準備もしながら夜なべの日々。(一般質問しない議員はラクだろうな)。議員報酬は同じなんだけどなく。私はご飯作ったり洗濯したり、家事もしてるんだけどなく。早朝5時から野菜の配達も)

伊豆の国市議会もインターネット映像配信がスタートしました!

ライブ中継と録画配信もあります。当日に聞き逃しても、いつでも見たいところだけ選んで見ることができます。議員ひとりひとりの過去の質問も検索できるようになります。

FMいずのくに生放送も継続されます。でも、やっぱり!議場での傍聴がなによりの応援となります。他の議員や行政職員の緊張感が違います。ひきつづき、議場傍聴も!!(感染対策をお願いします。)

 [伊豆の国市議会中継](https://smart.discussvision.net/smart/tenant/fizunokuni/WebView/rd/council_1.html) **検索** ページを検索してご覧ください。スマートフォンはこちらのQRコードからページを開けます。

スマートフォンの画面 - 日付・議員名で検索できます





パソコンでも同様に閲覧できます。

街での活動 | フォトギャラリー



世界気候アクション・9月24日 全国庁舎前スタンディング@伊豆の国市、函南町、三島市

女性議員をふやす「なないろの風」研修合宿 富士市クリーンセンター、教育支援の取り組み等

畑対談

議会は議場で傍聴できます。(マスク着用) 「FMいずのくに」で生放送も。
会議録はすべて公開されています(紙面で読みたい方はご連絡ください)

【HP検索】伊豆の国市→市議会→会議録
伊豆の国市議会ホームページで検索できます

2021 6月議会 | 山下正行新市長が描く、本市の将来像は?



答弁 本市の産業構造はバランスがよい。連携することで6次産業化や農商工連携をはかる。テレワークやワーケーション(通勤せずにリモートで仕事をする事)の環境整備。観光では大河ドラマによる地域活性化をはかる。

高橋たかこは訴える! 「めざせ、地域自治主義。都市農村共生社会!」
「官民連携で取り組む大河ドラマ事業。市の役割(税金の使い方)を明瞭に」

増田貴史雄新教育長の描く教育ビジョンは? 学区の自由選択制、熱中症対策としてマスクをはずす指導を。など。

答弁 「学区の見直しは検討する。制服等はジェンダーの視点からも見直しを求める。」
等、前向きな回答が多かった。教育予算の拡充は市長に求めた。

高橋たかこは訴える! 「めざせ、義務教育無償化!」●憲法、子どもの権利条約、教育基本法で義務教育の無償がうたわれています。学校給食無償化、保護者の経済的負担軽減を。(韓国ソウル市は小中高20809校、613万人に無償給食。しかも有機農産物。)
「めざせ、ジェンダーフリー!」制服、校則の見直しを。「めざせ、ESD(持続可能な社会づくりの担い手を育てる教育)」
「コミュニティスクール」「市民の生涯学習、文化活動の充実を」

2021 9月議会 | コロナワクチン接種は慎重に



答弁 「予防接種は任意であり、強制してはならない。ワクチンパスポートのようなもので差別をしない。」

高橋たかこは訴える! 「子ども若者へのワクチン接種は慎重に」厚生労働省の報告から ●ワクチン接種後の死亡例1233人(10月1日) ●ワクチンを打っても打たなくても99%以上が発症しない。 ●ワクチンに感染予防効果はない。(打っても感染するし、感染させる) ●子ども若者は陽性反応があっても発症は少ない。 ●治験中で未知の遺伝子ワクチンを強制してはならない。

農ライフを応援する施策を

高橋たかこは訴える! 「有害鳥獣対策は集落全体で。研修会や実習をしましょう。わなの会をつくろう」
●農業者以外の一般市民にも電気柵などの補助を ●都会と田舎の間「トカイナカ」をアピールして移住促進に
●耕作放棄地と空き家対策を結ぶ施策を

請願が不採択に

請願の紹介議員として、委員会で説明をしました。本会議最終日に討論しました。
「日本政府に『核兵器禁止条約』の署名と批准を求める意見書」の提出を求める請願」

■請願者：・・・伊豆の国市九条の会、新日本婦人の会
■紹介議員：三好陽子 高橋隆子

総務観光建設委員会に付託、「不採択とする」

本会議にて委員会審査に反対し「原案に賛成する討論」を行いました。反対討論はひとりもなく、そのまま賛成6反対10で「不採択」となりました。

■賛成：山口、高橋、笹原、古屋、田中、三好(内田議長は表決しない)
■反対：長谷川、山本、井川、森下、八木、二藤、小澤、天野、柴田、鈴木(敬称略)

「核兵器禁止条約」は2017年に国連で採択され、2021年1月に条約発効されました。唯一の戦争被爆国日本は条約に署名も批准もしていないので、国際的に信用を落とされています。核の平和利用とされた原子力発電所でも甚大な事故を起こした日本が果たすべき役割があります。

中国や北朝鮮の核の脅威に怯え、アメリカの《核の傘》を信じ、防衛費は5兆3千億円。思いやり予算は8000億円。いま、コロナ禍の困難。私たちの税金は私たちの暮らしのために使わなくてはなりません。全国1788自治体の3割がこの意見書を提出し、静岡県議会でも全会一致で「核兵器全廃に向けた建設的な議論を求める意見書」が可決。三島市、御殿場市、富士宮市、藤枝市も採択しています。

この意見書を国に提出したからといって、すぐに核兵器禁止条約に批准するとは考えられないものの、まずは市民からの請願を採択すべきでは、と強く訴えました。

請願に対する反対討論は一人もありません。反対理由は述べられませんが、否決されました。「(言論の府)である議会では、討論なしに否決することに憤りを感じるのには私だけではないでしょう。憲法に保障されている請願権をつかって請願を上げて下さった市民のみなさんに対しても失礼です。そして、日本国民、国際社会に対しても恥ずべき議会の現状です。

「ペン」は剣よりも強し」
武力よりも徹底した議論を尽くして平和的解決を

議会報告会は中止

今年も！議会報告会は中止になりました！3年間中止に。
「コロナ禍だからこそ開催して、市民の声を聴くべきだ」と最後まで反対しましたが、ほぼ全員が中止の意向でした。
独自に個別で、なんと少しでも対話集を開きたいです。

高橋たかこプロフィール・・・伊豆の国市議会議員、福祉文教経済委員、議会だより特別委員会委員長
●緑の党グリーンズジャパン共同代表 ●全国自治体議員政策情報センター虹とみどり ●女性議員をふやす「なないろの風」 ●伊豆の国市9条の会 ●伊豆の国市国際交流協会 ●葦山高校地区役員 ●生活クラブ生協組合員 ●静岡県リニア工事を考える会 ●自然食グループ香芽会会員 ●更生保護女性会会員 ●伊豆の国市立富士美幼稚園元PTA会長(二期)
●議員力検定2級 ●スキー&パラグライダーインストラクター
●バウンドテニス公認審判員 ●ファミリーバドミントン沼津協会公認審判員
●日本総合医学会食養アドバイザー ●バウンドテニス公認審判員&公認指導員
●昭和45年三島市生まれ ●葦山高校(41回)、早稲田大学卒業後、アメリカ各地で研修 ●ホリスティック医学、マクロビオティックを研究実践



takahashitakakoizunokuni@gmail.com

食・農・環境を基盤にした教育の輪から広がる“ひとづくり”

高橋たかこ後援会

TEL/FAX:055-944-2444

〒410-2141 静岡県伊豆の国市葦山山木1223

080-6927-2444



高橋渡辺隆子 検索